

Stop！ハラスメント

「しない・させない・ゆるさない」 by ハラスメント防止委員会

2023.2.15

No.6

「介護現場におけるハラスメント事例集」（三菱総合研究所）から学ぶ

厚労省のHPに掲載されているこの「ハラスメント事例集」は、

実際の事例を ①発生の経緯、②報告に至るまで、③対応の観点、の項目にまとめて書かれています。

それに加え、④学びのポイントで、何が重要で、どうすべきだったのか、について解説されています。

今回は「学びのポイント」からご紹介します

- **ハラスメントに結びつく可能性**

ハラスメントまたはその疑いのある言動が最初に発生した段階で、適切に対応しないと、少しずつエスカレートしていくのではないかな。

- **相談を受けた時の対応のポイント**

事業所内で必要な情報を共有し、話し合っ、適切な対策を立てることにより、職員全員が理解して対応することは重要ではないかな。

- **普段からの取組みで参考になるポイント**

ハラスメントを受けたと感じたら、すぐに管理者等に伝えることの重要性を、事業所内で共有し、それが実践されることが大切ではないかな。他の職員に対するハラスメントの可能性を感じた場合に、利用者に伝えるだけでなく、事業所内にも伝えていくことが必要ではないかな。



（「事例集」へのQRコード）

対応の事例を学ぶことは、経験の共有と正確な知識につながります。
この「事例集」を拾い読みしてみませんか？

（上のQRコードから閲覧できます。スマホでも読めます。）

ハラスメント防止委員会 事務局（人事部：佐藤・鷺野）

☎:080-1621-8866（鷺野） ✉:washino@kouzenkai.or.jp